

令和6年 11月19日

令和6年度全国学力・学習状況調査 朝日小学校の結果と取り組みについてお知らせします

調査日:令和6年4月18日(木) 調査対象:第6学年 内容:国語 算数 質問紙

	国語	算数
全国平均との比較	◎	◎
福井県平均との比較	○	○

【表の見方】 平均正答率

◎…3.0ポイントより、上回る

○…±3.0ポイント以内

△…3.0ポイントより下回る

- ・朝日小学校は、2教科とも県や全国との比較において全体的に良好な結果でした。
- ・本調査結果については児童が身に付けるべき学力の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要です。(文部科学省より)

国語

○良好な点

- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること
(表現されている文や言葉を取り上げて、「心に残ったところ」とその「理由」を書くこと)
- ・「事実(取材したこと)」と「感想や意見」を区別して、書き表し方を工夫すること
- ・事前に作成したメモが話をする際にどのように役立つのかを考えること
- ・情報と情報を関連付け、線でつないで図示するなどの「メモの表し方」の理解



○課題のある点

- ・登場人物の相互関係や心情について、**描写をもとに捉えること**

物語では、登場人物の心情が、暗示的に表現されている場合があります。問題では、「そして、とてもさびしそうな顔をして、ハエの女の子から目をそらしました」という描写から、「オニグモじいさん」がどのように話すか迷う心情を捉える力が求められました。

- ・資料を活用するなどして考えが伝わるように表現を工夫すること (県・全国との比較では良好です。)
- ・文章の中で正しく漢字を使うこと 競技の作戦を考える(運動会の場面) ボールを投げる

国語の学習の充実に向けて

☆「登場人物の心情や関係を描写から捉える力」「表現の効果を考える力」を育てます。

1年生・2年生

挿絵を手掛かりにして…
役割を決めて演じて…
→内容の大体を捉えます。

3年生・4年生

場面と場面のつながりを意識して…
気持ちの変化に着目して…
→複数の叙述から捉えます。

5・6年生

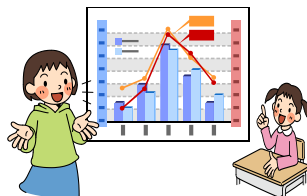
会話や行動を人物の関係とつなげて…
場面の様子と心情の関係に着目して…
→人物の相互関係・心情を捉えます。

日常の読書では、「どのように読むと物語のよさに気付くことができるか」について働きかけを行います。
本を読むときの様々な観点(人物像、表現の効果など)から「物語のよさ」を楽しく交流できる機会を設けます。

☆相手や目的を意識して自分の考えが伝わるように表現する力(話す力等)を育てます。

どのような資料を、
どのような順番で、
どのような場面で、
示したらよいだろう？

聞き手のうなずき、
聞き手の表情、
聞き手の反応に
目を向けよう！



やり取りのモデルを見て
確かめよう。
動画に記録し、
自分の表現を確かめよう。

☆漢字の「へん」や「つくり」に注目して習得し、学習した漢字を使って言葉や文を書きます。

算 数

○良好な点

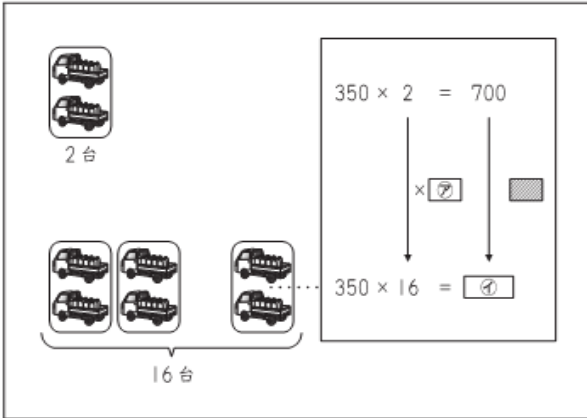
・「数と式」「図形」「変化と対応」「データの活用」全領域における知識や技能

540÷0.6を計算すること 問題場面から式をつくること 表からデータを取り出し分類・整理すること
円柱の展開図の側面の長方形の長さを求めること 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること 他

○課題のある点

・着目する視点を明確にして式や言葉で説明するなど「思考・判断・表現」の力

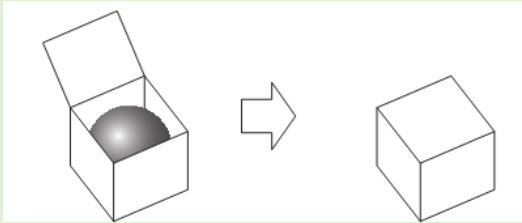
(無回答は少なく、一生懸命取り組んでいます。「思考・判断・表現」において県や全国との比較では良好です。)



トラック 1 台で350kgの米を運ぶことができます。
このトラック16台で何 kg の米を運ぶことができるかについて考えます。

350×2=700をもとに350×16の求め方を書く問題です。
・図における「アに入る数をどのように求めたのか」
・図における「アに着目した時のイをどのように求めたのか」
求め方を式や言葉を使って説明することに課題があります。

図をみれば 350×16は、筆算を使わなくても計算できますね。
計算を能率的に処理できることに気づき、工夫することが大切です。

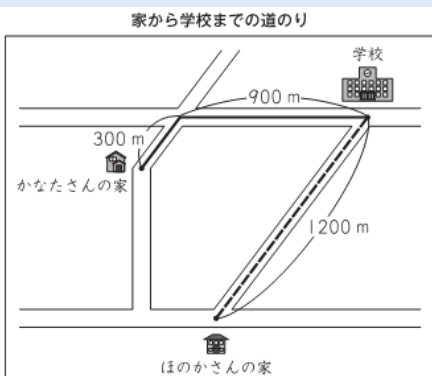


立方体の箱の1辺は22cmとなり、
体積を22×22×22で求めることができます。

球の直径の長さで立方体の1辺の長さを捉え、
立方体の体積の求め方を式に表す問題です。

**図形を構成する要素(辺など)を見い出し、
それらを活用して体積を求めることに課題がみられます。**

もしもこの問題が「1辺が22cmの立方体の体積を求める式は？」と
問われていたのなら、すぐに解答できたことでしょう。
3.14は円周の直径に対する割合を示したものです。立方体の体積
を求める際は使いませんね。



かなたさんは家から学校まで20分間、ほのかさんは24分間かかりました。
それぞれの家から学校までの速さを比べるとどちらが速いですか。

**道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、
その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられます。**

家から学校までの道のりはどちらも1200m ですから、かかった時間が短いほう
が「速い」ということになりますね。道のり÷時間を使って確認することもできます。

算数の学習の充実に向けて

☆「何に着目したらよいかを捉えて思考する力」「図・式・ことばで説明する力」を育てます。

☆「日常場面に対応させて事象を捉える力」「能率的に処理する力」「観察する力」を育てます。

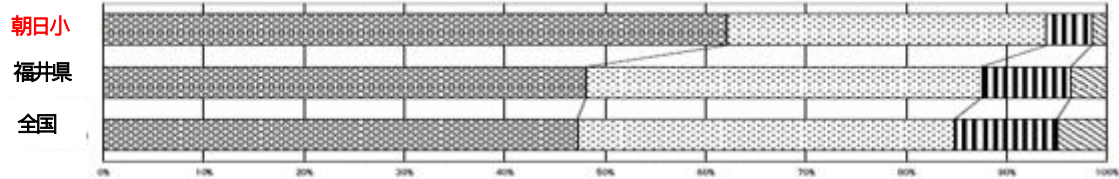
☆問題解決の過程を振り返り、よりよい解決の方法を求める力を育てます。

児童質問紙の結果（抜粋）

幸せな社会を創る力

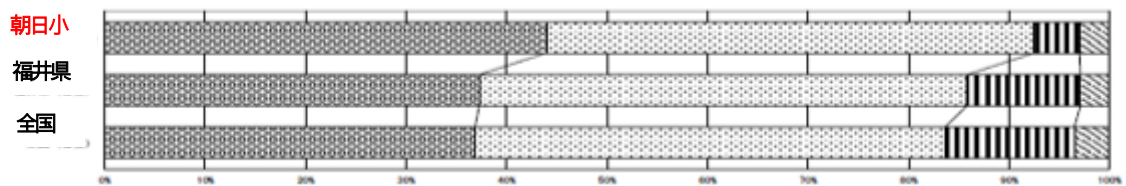
学校に行くのは楽しいと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない



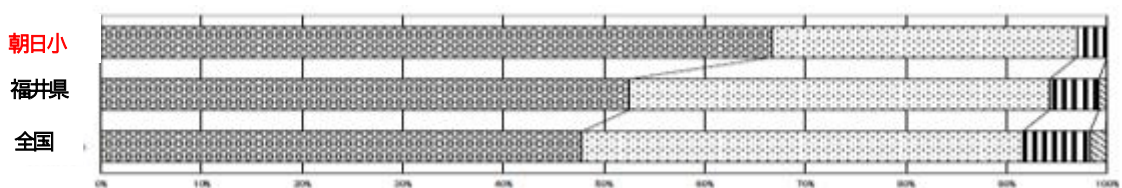
地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない



授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

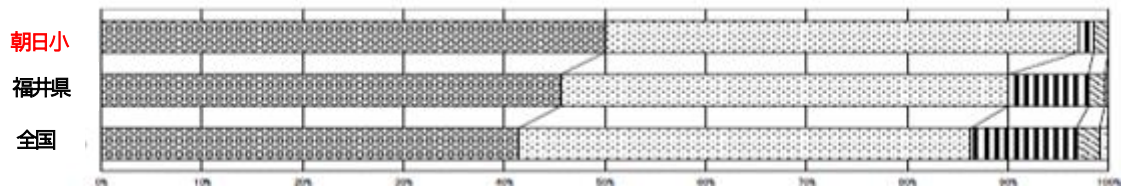
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない



未来を拓く学力

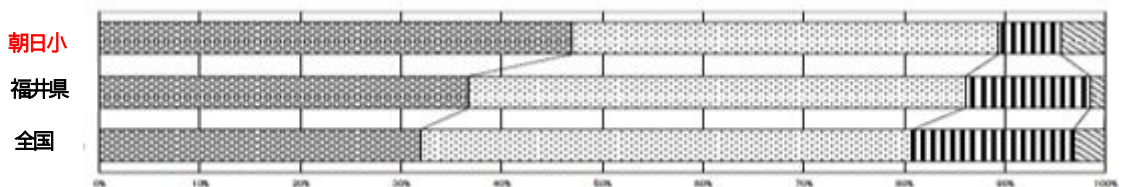
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない



学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

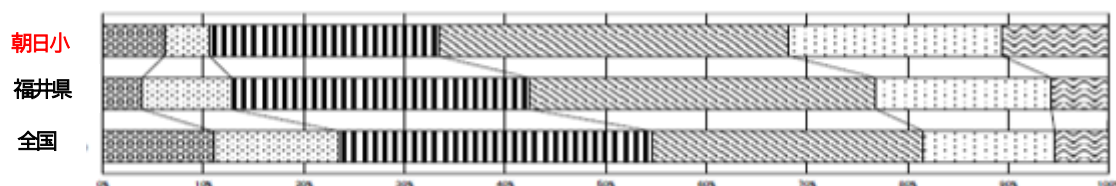
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない



家庭学習時間

学校の授業時間以外に普段 1 日あたりどれくらいの時間勉強しますか。

左から、3時間以上 2時間以上 1時間以上 30分以上 30分より少ない まったくしない



<幸せな社会を創る力を育むこと>

地域や社会への貢献意識、人と協力して課題を解決することなど「社会を創る力」に関して肯定的に回答した児童の割合が良好な結果となりました。

今後も次の点を大切にして教育活動を行います。

- ・多様なアイデアを生かした行事、児童会活動、学級活動による主体的な活動
- ・学年の枠をといた交流活動
- ・地域と連携した探究活動
- ・ピア・サポート、レジリエンス教育などのポジティブ教育



<未来を拓く学力を育成すること>

自らの学習を調整し、主体的・協働的に学ぶことについて、肯定的に回答した児童の割合が良好な結果となりました。

今後も次の点を大切にして学習指導を行います。

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を進めること
- ・「魅力ある学習課題」「深まりのある対話の時間」「学習方法を選択すること」「学習のふりかえり」
- ・ICTの効果的な活用



<家庭学習時間>

平日の家庭学習時間(塾なども含む)については、1時間以上と回答した児童が33%と福井県や全国の平均を下回っています。毎日与えられる課題を行うことも大切ですが、**自ら学んだり、探究したりできるような自主学習の取り組みを工夫**していくことも大切であると考えます。そのために、学びのリストを提示したり、AIドリルを活用したりしながら、子どもたちが自ら「考えたい、やってみたい」と思える仕掛けを考えていきます。

学ぶ力を「生きる力」に

社会が変化を続けても、
自ら課題を見付け、仲間と学び合い、ふるさとや世界に目を向け、
たくましく、人生を、そして未来を切り拓いていく。
そんな児童の育成を目指して、朝日小学校の教育活動の充実と改善を図っていきます。



社会や地域の出来事、学校で学んだこと、体験したこと、読んだ本のことなどについて、
ご家庭で話し合ってみてください。
ご家庭での働きかけは、「生きる力」を育む原動力になります。